

「聖霊を信じる。」

聖霊は主、いのちの与え主」

(ローマ8:1-11)

一、聖霊を信じる

325年の原ニカイア信条では、聖霊をどのように信じると告白したのでしようか。〈われらは信ず。聖霊を〉とあるだけで、それ以上のことは語られていません。使徒信条はどうでしょうか。

〈我は聖霊を信ず〉だけです。聖霊をどのように信じるかの文言がありません。では、私たちが取り上げているニカイア信条(ニカイア・コンスタンティノポリス信条)は、どうでしょうか。〈また

聖霊を信じます。聖霊は主、いのちの与え主であり、父と子から出て、父と子と共に礼拝され、共に栄光を帰せられます。そして預言者によつて語られました。〉とあります。聖霊をどのように信じるかが語られています。

さて、原ニカイア信条、そしてニカイア信条にあります「聖霊を信じる」という文言ですが、この中に、すでに重要な信仰の告白が含まれています。ヨハネの福音書に〈4・24神は霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によつて礼拝しなければなりません。〉という聖句があります。これは、主イエス・キリストがサマリアの女に語られた言葉です。

どういう意味なのでしょう。か。「神は霊である」と語られています。注意しなければならぬのは、「霊」はギリシア的な「靈魂」の意味で語られたのではないということ。ヨハネの福音書は、神が霊であることについて、主イエスがニコデモに語られた言葉として、次のように語っています。〈ヨハネ3・8風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。御霊によつて生まれた者もみな、それと同じです。〉と。すなわち、霊は、目で見たり、感覚で捉えたりすることのできないものです。しかし働かれていることはたしかです。神もそうです。

さて、「聖霊」とは二つの言葉によつて成っています。聖なる霊です。「聖」は、神を指す言葉です。したがって、聖霊という言葉は神を意味します。ということ。〈聖霊を信じる〉とは、「霊である神を信じます」という意味になります。これだけでも、立派な信仰告白です。ですが、ニカイア信条は「聖霊を信じます」に続く言葉があります。なぜなのでしょう。か。そのように告白する必要があるからです。

325年に原ニカイア信条が採択された後、聖霊をどのように信じるかの論争が起きました。聖霊も、御子と同じく神の被造物に過ぎないという主張が出てきました。それが、381年に採択された

ニカイア信条背景にあります。

二、聖霊は主

ニカイア信条の「聖霊は主」に耳を傾けてまいります。私たちは「主イエス・キリスト」という言葉を用います。そこには「主であるイエス・キリスト」、ないしは「イエス・キリストは主である」という意味があります。「主」には、「主人」の意味と、神の名である「ヤハウェ」の意味が含まれています。

では、聖霊に対しては、何とお呼びしたら良いのでしょうか。〈聖霊は主〉、ないしは「主である聖霊」です。「主イエス・キリスト」という言い方に倣って、「主聖霊」と言ってもかまわないわけですが、日本語の響きとしては合いません。「主なる聖霊」なら良いのではないのでしょうか。聖書に書かれています。コリント人への手紙第二三章17節に「主は御霊です。そして、主の御霊がおられるところには自由があります。〉と。

三、いのちの与え主

続いて、ニカイア信条の「いのちの与え主」に耳を傾けてまいります。これを知りますと、ほんとうに恵まれますし、力づけられます。神である聖霊、そして主である聖霊は、イエス・キリストを信じる者にいのちをもたらします。ローマ人への手紙8章9節をご覧ください。〈しかし、もし神の御霊があなたがたの

うちに住んでおられるなら、あなたがたは肉のうちにではなく、御霊のうちにいるのです。もし、キリストの御霊を持つていない人がいれば、その人はキリストのものではありません。〉とあります。

この聖句は、新共同訳がすばらしいと思います。〈神の霊があなたがたの内に宿っているかぎり、あなたがたは、肉ではなく霊の支配下にいます。キリストの霊を持たない者は、キリストに属していません。〉とあります。読んだだけで、心の中にストンと入って来ます。神の霊、すなわち聖霊が私たちの内に宿りますと、聖霊の働きによつて、神の御思いにお従いたいという思いに導かれます。私はこう思うのです。「みことばに従わなくてはいけない」と思っている内は、信仰がまだほんものになっていないと。「私はどうしても、神の御意思に従いたいです！私を用いてください！」と願ったとき、信仰がほんものになっていると。それを可能にしてください。いのちの与え主なる聖霊です。

きょうお話ししたことをまとめますと、次のようになります。「聖霊を信じる」とは、霊である神を信じる告白です。「聖霊は主」とは、聖霊が主であると言います。「いのちの与え主」とは、聖霊御自身が私たちの内に働いて、神のみこころに副うように働きかけ、助けてくださると言い表す言葉です。